

ミニ企画展

村田宗右衛門

とその遺産



村田宗右衛門（3代目）

初代村田宗右衛門は近江国（現在の滋賀県）出身で、文政2年（1829）頃現在の石岡地区に住みはじめたようです。醸造業を営み「富士一山」という銘柄の日本酒を販売していました。その後、醤油業も開始し、二代・三代と家業は受け継がれました。江戸末期から明治時代にかけては江戸から仙台までの街道中で最大の豪商といわれていました。

この度、平成26年9月6日～28日まで村田家より石岡市に寄贈を受けた資料が漆器を中心に茨城県立歴史館のテーマ展「漆の世界」で展示されることとなりました（詳細は歴史館にお問い合わせください）。石岡市ではこれに合わせて、下記の通りミニ企画展を開催いたします。

記

会場：石岡市民俗資料館（石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内）

開催期間：平成26年9月6日～10月26日まで

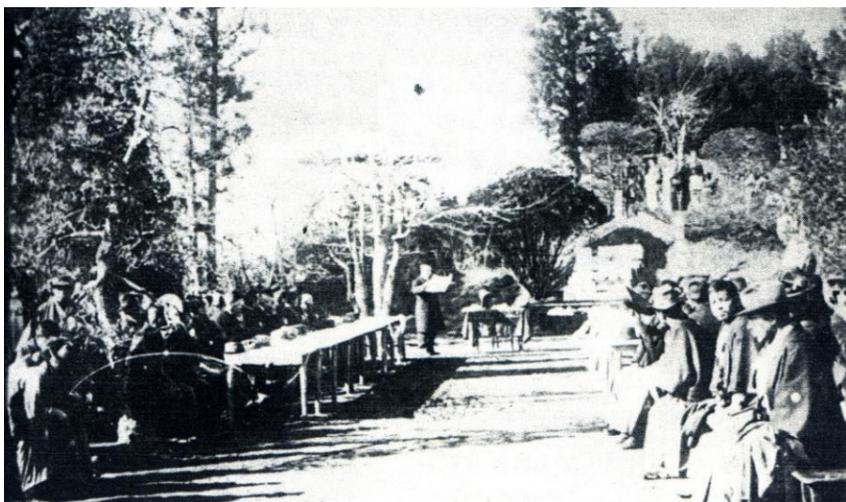
開館時間：午前9時～午後4時30まで

※土・日・祝日のみ開館。平日は事前にご予約ください。

お問い合わせ先：0299-43-1111（文化振興課 内線1324）

初代～三代目村田宗右衛門関係年表(石岡市史より)

年号	西暦	事象
明和 7	1770	初代宗右衛門、近江国（現在の滋賀県）日野町下鍛冶町に生まれる。
文化 4	1807	二代目誕生。
文政 12	1829	常陸府中に移り住む。
天保 4	1833	初代没（64 歳，清凉寺）。
天保 14	1843	三代目誕生。
慶応元	1865	二代目没（59 歳，清凉寺）。
明治 5	1872	戸長，三等郵便局長を拝命。
明治 6 ごろ	1873	石岡郵便局開設（石岡町で最初の郵便局）。
明治 12	1879	郵便貯金事務を開始。
明治 14	1881	蒸気機関を使用した精米所を設立，全国的に注目される。
明治 19	1886	消失した清凉寺を再建。
明治 24	1891	電信業務を開始，石岡郵便電信局に改称。
明治 26	1893	小包郵便事務を開始。
明治 30 ごろ	1897	酒・醤油業廃業。
		屋敷 2000 坪を専売局出張所建設のため大蔵省に寄付（現在の国府公園）。
明治 34	1901	三代目没（59 歳，清凉寺）。葬儀が盛大にとり行われる。
明治 37	1904	再び石岡郵便局と改称。
明治 41	1908	電話通話事務を開始（石岡で最初の電話）。
明治 42	1909	電話開通式を成趣園にて盛大に開催。



三代目村田宗右衛門は旧幸町の自宅付近に「成趣園」という公園を造り、一般にも公開しました。写真は石岡に電話が開通したことを成趣園でお祝いしている様子です。村田家では石岡市で最初に電話を取り入れました。

主な展示資料

日本酒のラベル？

樽に張り付けるラベルと思われませんが、布に描かれていることから、何かの記念に作られたものかもしれません。また、村田家では「富士一山」という銘柄で日本酒を販売しており、「旭」という銘柄は確認されていません。英語の表記から輸出用の可能性もあります。



木箱

漆器の入っていた木箱です。墨書で「ストックビール」と書かれています。これは「ストックビール」というドイツ製ビールのことです。現在の日本のビールの原点となるもので、醸造業を営む村田家が文明開化にあわせいち早くとりよせたのでしょう。